

ふるさと館だより

No. **15**

2012. 1. 10

〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3 TEL044-813-4705 FAX044-814-0250 <http://furusatokan.web5.jp/>

明けまして おめでとうございます。2011年を表わす漢字は「絆」でした。昨年は、東日本大震災で被害に遭われた方々には痛ましい限りでしたが、今年こそ穏やかで明るい一年にと願っております。皆様には旧年と同様にご理解とご協力くださいますよう、心よりお願い申し上げます。



なるほど！歩いて楽しい大山街道

10月22日（土）降りしきる雨が出発前には「カラリ」とあがり「街道歩き」には絶好のコンディションとなりました。今回は、渋谷ハチ公前から代官屋敷を経て用賀までのおよそ10キロのコースでした。代官屋敷は彦根藩世田谷領代官、大場氏の居宅で母屋と表門が国の重要文化財であることや、世田谷のボロ市の起源など講師の中平龍二郎氏が詳しく説明されました。今回も大山街道のもつ魅力の再発見につながる講座になりました。参加者から「来年も」という要望がでました。



<大山不動の道標の前で>

子ども大山街道探検クラブ

11月～ベーゴマを回そう～

みなさん。ベーゴマの経験はありますか。とにかく難しいのです。まず、第一の関門は糸をきちんとコマに巻くことで、大人も子どもも悪戦苦闘、そしてかろうじて回った時の感動は格別です。



<糸がうまく巻けないよ>



12月～「たこ」づくりに挑戦～

「たこたこ上がれ」お正月の風物詩、探検クラブ会員をオーバーする25名の子どもたちが、安原職員のもと「たこ」づくりに挑戦しました。元気よく冬の空に舞い上がる？・・・といいですね。

<たこの下絵づくり>

第2回文化講演会

地元、地域文化研究家の鈴木 穆氏を講師に第2回文化講演会を（11月5日）に開催しました。講演では大山街道や二ヶ領用水の変遷と大きく関わりあってきた光学機器メーカー“日本光学”の社史を辿りながら高津の歴史を熱く語っていただきました。参加者からは「住んでいる環境や変遷など興味をひかれる。」「思いがけない高津の歴史を垣間見た。高津再発見につながった。」などの感想が寄せられました。





古代文化逍遙

11月30日実施

会の初めに軽妙な語り口によって講師の村田文夫氏から、古墳が作られるようになった経緯が語られ、二子塚、諏訪天神塚、北見方古墳の位置や葬られた人、周囲で生活していたと思われる人々の暮らしについての詳しい説明がありました。

また、古代橘樹郡の推定範囲にある矢上川の流域で数多くの村が形成され古墳が作られたことも熱心に語られました。中でも影向寺と千年伊勢山台地域には、当時一大勢力が集まっていたことが話されると、興味深く聞き入っていた参加者から続編を是非やってほしいという声が上がりました。

〈お知らせ〉

企画展・文化講演会の開催

郷土の地名に親しもう ～川崎区を中心に～

当館では「郷土の地名に親しもう」をシリーズとして企画展を行ってきました。今回で市内全域を紹介し終えることとなります。多数の皆様のご来館をお待ちしております。

☆企画展 ・日 時 平成24年 2月19日（日）から3月4日（日）
・10:00～17:00（入場無料・申し込み不要）

☆文化講演会 ・日 時 平成24年 2月19日（日）10:00～12:00
・講 師 金子 欣三 氏（日本地名研究所事務局長）
鈴木 茂子 氏（日本地名研究所所員）

（参加費無料、申し込み不要）



☆会 場 大山街道ふるさと館 1階 展示室

大山街道ガイドブック「訪ねて楽しい大山街道」の編集



〈第4回現地調査より〉

最近、当館を訪ねて来られる人の中に、大山街道全体を歩いてみたいという方が多くなってきました。そこで当館では、出発点から大山までのガイドマップを作成することにしました。より多くの人に活用いただけるように郷土史家、有識者等に協力していただき、館職員は計5回に分けて現地を歩き調査しました。B5版50ページのハダタイプのガイドブックになる予定で、子ども探検クラブの子ども達にもイラストを描いてもらい、大山街道周辺の社仏閣等を写真や解説文で紹介しています。3月完成予定です。乞うご期待。